

ブラジル・ミッションの主な内容

8月17日（土曜日）

「ブラジル三重県人会記念式典・交流会」～三重県人会をはじめ三重県ゆかりの人的ネットワークの深化～

行政団、経済団、民間団全員によるブラジル三重県人会記念式典への参加、三重県海外功労者の表彰、知事・議長等行政団による県人会連合会、先没者慰霊碑等日系人関係の要所訪問により、三重県人会をはじめ現地関係者とのネットワークを深め、今後の経済交流の土台となる人的ネットワークをより強固にします。

8月19日（月曜日）

「サンパウロ州知事訪問」～サンパウロ州との新たな関係の構築～

姉妹提携から40年を迎える節目の年にサンパウロ州政府を訪問し、大統領に次ぐ影響力を持つと言われるサンパウロ州知事との会談により、これまでの友好提携から経済交流や環境問題克服をはじめ新たな時代の相互互恵的な関係（ウィン・ウィン関係）を築くとともに、トップレベルでの人脈の形成による産業連携、販路拡大、観光誘客への活用を図ります。

「サンパウロ大学訪問」～経済交流を支える学学連携のステップアップ～

現在、三重大学人文学部がサンパウロ大学哲学・文学・人間科学部と学部間協定を締結しているところ、三重大学関係者ととともにサンパウロ大学を訪問し、大学間協定へのステップアップの方向性を確認し、学術連携や人材交流の促進など、友好提携や経済交流を支える大学間ネットワークの構築を図ります。

「三重プロモーション（総領事公邸における交流会）」～三重の総合的な売り込み～

在サンパウロ日本国総領事公邸において、周囲に影響力のある各界の有力者を招聘して、三重の観光や文化などの魅力を知事が直接アピールする「三重プロモーション」を総領事館との共催で開催します。会場では、三重県産日本酒の試飲、伊勢型紙など県の伝統産品や観光ポスター展示、伊勢神宮などを紹介する観光PR用DVDの放映のほか、三重県が姉妹都市として、ブラジル人にとって暮らしやすい街であることを紹介するパネル展示を行い「三重の親ブラジル度」をアピールします。

8月20日（火曜日）

「サンパウロ工業連盟訪問」～今後のブラジル経済の展望の確認～

更なる経済成長が見込まれ、ブラジルのGDPの3分の1以上の経済規模と4千万人超の人口を有するサンパウロ州は、県内企業にとって中長期的に有望な事業展開先の一つです。このため、サンパウロ工業連盟幹部との会談や在ブラジル日本商工会議所、ジェトロからの現地最新情報の聴取などを通じて、ブラジル市場の最新経済状況を見聞・収集し、県及び県内企業関係者とサンパウロ州企業関係者とのネットワークの構築を図ります。

「ビジネスセミナー・意見交換交流会」～産業連携の幕開け～

ブラジルの中心産業である自動車関連産業や石油化学関連産業、食品関連産業等、三重県産業・県内企業も強みを有するこれらの産業に関連する企業に対して、三重県産業のプロモーションをジェトロなどと協力しながら実施します。

具体的には、ビジネスセミナーによる三重県産業・企業の強みのPRや現地企業との意見交換交流会の開催により、中長期的なブラジルへの展開も視野に入れつつ他県企業に先駆けて「足場固め」を行います。

8月21日（水曜日）

「日系旅行会社等への観光トップセールス」～ブラジル人目線での観光PR～

日系旅行会社等5～10社を集め、在県ブラジル人らによる三重県ブラジル応援団「アミーゴス・デ・ミエ」が出演するPRビデオを紹介するなど、「ブラジル人目線での観光PR」に取り組みます。また、約150万人を有する富裕層の多い日系人の里帰り旅行や出稼ぎ親戚訪問旅行を企画するよう、知事からトップセールスを行います。その際、ブラジルにおける認知度を踏まえ、「忍者」、「F1」、「真珠」などを中心にPRします。

「三重デイ（日本食レストラン等へのトップセールス）」～三重の食文化を発信～

健康や美容への関心の高まりや日本食の拡がりが見られるブラジルで、JAPANブランドに対する高い評価を活かし、三重県の食材（日本酒、豆腐、調味料、お茶など）や化粧品を日本食レストランの一角を借りてPRします。

会場では、「美と健康」をテーマに本格豆腐と産学連携から生まれた新感覚調味料を使った料理・スイーツなどの試食や日本酒、お茶の試飲など、三重の食文化や県産食材による「本物の味」を体感して頂き販売促進を行います。